

科目名 母性看護援助論Ⅲ	配当時期 2年次前期	講義担当者	
時間割表記名 母性看護援助論Ⅲ (看護過程展開)(看護技術)	単位数 1単位 時間数 30時間(15回)	原田なをみ 端迫玲奈 吉竹あゆ	
事前学習内容 母性看護学概論・母性看護援助論Ⅰ・Ⅱの復習をしておく。 演習前にはテキストと技術の動画を視聴し、手順を確認しておく。			
授業目標 1. 母性看護における看護過程の展開方法が理解できる。 2. 母性看護に用いられる主な看護技術が実践できる。			
DPとの関連 DP1. 看護の対象である人間を身体的・精神的・社会的・霊的に統合された生活者として理解することができる。 DP2. 一人ひとりの健康状態に応じて、最善の看護を選択し、科学的根拠に基づいた看護を実践できる。 DP3. 一人ひとりの多様な価値観や人権を尊重し、倫理観に基づいて看護を実践できる。 DP4. 保健・医療・福祉システムにおける自らの役割を理解し、多様な場で生活する人々の生活の質の向上のために多職種と連携・協働する意義と方法を理解することができる。 DP5. 自己を理解し、他者を尊重したうえで、人間関係を構築することができる。			
授業の流れ			
回	学習内容	方法	備考
1	看護過程展開 1. マタニティサイクルにおける看護の特徴 2. ウェルネス看護診断とは 3. ウェルネス看護診断の展開 1)母性看護における対象把握(情報収集・アセスメント)	講義 演習	テキスト①、 助産録
2	2)母性看護における対象把握 (1)褥婦の全体像 退行性変化、進行性変化、基本的生活行動 心理状態、出産育児・社会的生活行動 (2)新生児の健康状態	講義(解説) 演習	テキスト①③ 助産録 産褥経過表 新生児経過表
3	3)母性看護における対象把握・アセスメント 産褥2日目・新生児日齢2日目のアセスメント 4)看護上の問題点の把握	講義(解説) 演習	テキスト①③④ アセスメント用紙
4	4)看護上の問題点の把握 産褥2日目の母体変化と授乳状況 5)看護目標・看護計画立案	講義(解説) 演習	テキスト①③④ アセスメント用紙 看護実践スクリプト
5	5)看護計画の立案 産褥3日目、新生児日齢3日目の計画立案 ウェルネス思考での看護目標立案、具体的計画	講義(解説) 演習	テキスト①③ 看護実践スクリプト

6	<p>4. 妊娠期の看護の実際</p> <p>1)情報収集・アセスメント技術</p> <p>(1)問診</p> <p>(2)フィジカルアセスメント(主なもの)</p> <p>視診:下肢の観察(浮腫の有無など)</p> <p>触診:レオポルド触診</p> <p>聴診:胎児心音</p> <p>計測診:バイタルサイン測定、身体計測・骨盤計測、腹囲・子宮底の測定、内診、臨床検査(尿検査・血液検査等)</p> <p>【①腹囲・子宮底測定、レオポルド触診②胎児心音の聴取(超音波ドップラー、トラウベ、NST)③下肢の観察④体重増加のアセスメント⑤臨床検査のアセスメント⑥腹帯の巻き方⑦マイナートラブルのアセスメント】</p>	<p>講義</p> <p>シミュレーション</p> <p>演習</p>	<p>テキスト①②③</p>
7 8	<p>5. 分娩期の看護の実際</p> <p>1)情報収集・アセスメント技術</p> <p>(1)問診</p> <p>(2)フィジカルアセスメント(主なもの)</p> <p>視診:産婦の様子</p> <p>触診:子宮収縮(陣痛)の状況</p> <p>聴診:胎児心拍の聴取</p> <p>計測診:バイタルサイン測定、胎盤</p> <p>【分娩時の看護:CTG、産痛緩和、回旋】</p> <p>6. 産褥期の看護の実際</p> <p>1)情報収集・アセスメント技術</p> <p>(1)問診</p> <p>(2)フィジカルアセスメント(主なもの)</p> <p>視診:悪露の状態</p> <p>触診:子宮底高・硬度</p> <p>計測診:バイタルサイン測定</p> <p>【子宮底高・硬度の観察、外陰部・悪露の観察・マイナートラブルのアセスメント、骨盤ケア】</p>	<p>講義</p> <p>シミュレーション</p> <p>演習</p>	<p>テキスト①②③</p>
9 10	<p>7. 妊娠期・分娩期の看護の実際</p> <p>視診:乳房・乳頭の形態</p> <p>触診:乳房・乳頭の状態</p> <p>【乳房・乳頭の観察およびケア・母乳指導(新生児の抱っこ・乳頭くわえさせ方)】</p> <p>8. 新生児の看護の実際</p>	<p>シミュレーション</p> <p>演習(技術)</p>	<p>テキスト①②③</p>

	<p>1)情報収集・アセスメント技術</p> <p>(1)問診</p> <p>(2)フィジカルアセスメント(主なもの)</p> <p>視診:外表奇形・外傷の有無、胸部、腹部、姿勢、四肢の動き、活動性、反射、皮膚など</p> <p>触診:頭部、胸部、腹部、背部など</p> <p>聴診:呼吸の状態、心拍、腸蠕動</p> <p>計測診:身長、体重、頭囲、胸囲など</p> <p>【新生児の観察(頭部・皮膚・胎便・反射・腹部)バイタルサイン測定(体温・呼吸・心拍)、計測(身長・体重・頭囲・胸囲)抱っこの仕方・哺乳瓶の使い方(ビタミンK投与)更衣・おむつ交換】</p> <p>9. 周産期における医療安全</p>		
11	<p>10. 新生児の援助</p> <p>【沐浴・観察・臍処置・鼻・耳のケア・環境調整】</p>	演習(技術)	テキスト①②③
12 13	<p>周産期における保健指導</p> <p>1) カウンセリング技術、触診</p> <p>2) 自己決定権を保障する情報提供、非指示的な対応</p> <p>3)ヘルスプロモーション、セルフケア:保健指導、健康教育</p> <p>4)親になる過程および家族適応を促す看護技術:育児技術</p> <p>5)妊娠期および産褥期・新生児期における保健指導計画の立案</p> <p>1) 妊娠期における就労時指導</p> <p>2) 着帯</p> <p>3) 妊娠中の貧血予防</p> <p>4) 妊婦中の体重コントロール</p> <p>5) 出産・育児に必要な準備(物品)</p> <p>6) 母乳育児について</p> <p>7) 新生児の抱き方・寝かせ方・衣服の着脱</p> <p>8) 授乳時の抱き方・おっぱいの含ませ方</p> <p>9) 産褥体操</p> <p>10) 産後ケア事業 など</p>	<p>講義</p> <p>演習</p> <p>(グループワーク)</p>	<p>テキスト①②③</p> <p>資料</p>
14 15	<p>指導案を使用しての保健指導の実施・評価</p>	ロールプレイング	テキスト①②③ 資料
<p>受講上の注意</p> <p>○5回正常な経過をたどる妊産褥婦の事例を用いて看護過程の展開を行う。</p> <p>○母性看護援助論Ⅰ、Ⅱの既習知識を活用しアセスメントを行う。</p> <p>○沐浴の技術は、技術確認を行う。</p>			<p>評価方法</p> <p>看護過程展開の記録</p> <p>保健指導案</p>

○実習で実践できるように技術の練習を行う。

○評価は、看護過程展開の記録と保健指導の指導案で評価する。

使用するテキスト

①系統看護学講座 専門分野 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院

②系統看護学講座 専門分野 母性看護学2 母性看護学各論 医学書院

③看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社

④リンダ J. カルペニート著 看護診断ハンドブック第11版 医学書院

参考文献

①ウェルネスからみた母性看護過程+病態関連図, 第2版 医学書院

②写真でわかる母性看護技術アドバンス インターメディカ